



平成24年10月18日

各位

上場会社名 大成株式会社
 代表者 代表取締役社長 加藤 憲司
 (コード番号 4649)
 問合せ先責任者 経営企画室長 中島 武久
 (TEL 052-251-6611)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月15日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	8,445	119	144	74
今回修正予想(B)	8,332	△5	34	△16
増減額(B-A)	△113	△124	△110	△90
増減率(%)	△1.3	—	△76.4	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	8,278	160	184	98

平成25年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	8,137	143	74
今回修正予想(B)	8,049	35	△13
増減額(B-A)	△88	△108	△87
増減率(%)	△1.1	△75.5	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	8,043	186	103

修正の理由

当第2四半期累計期間におきましては、足元では景気は緩やかに回復してきているものの、ビルメンテナンス業界においては、依然として既存物件における空室率の高止まり傾向やビルオーナーからの仕様見直しによる減額要請などが発生するなど厳しい経営環境でありました。

第2四半期累計期間の売上高につきましては、新規契約の獲得に努めて参りましたが、既存物件の解約・減額などにより当初予算を下回る見通しとなりました。

また、営業利益および経常利益につきましては、大規模物件の新規獲得があった一方で、これらにかかる人材の募集費・教育費などの業務準備コスト負担が大きく響き、さらに解約・減額物件における人員配置・整理の遅れなどによるコストが重なり、いずれも当初予算を下回る見通しとなりました。四半期純利益につきましても固定資産除売却損や投資有価証券売却損などの計上により当初予算を下回る見通しとなりました。

よって連結ならびに個別ともに平成24年5月15日に公表いたしました第2四半期累計期間の業績予想を修正いたします。

※上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上